



あおば町
齋藤佑二 さん

私のふるさととは、群馬県前橋市です。福島県とは尾瀬で隣接している群馬県ですが、北関東自動車道が開通してからは、須賀川から車で2時間弱と、とても近くなりました。群馬県の県庁所在地である前橋市の人口は約33万人と、規模的には郡山市に近い都市です。

群馬と福島の風土や環境の違いをぼんやりと考えると、群馬は「山」の存在感がとても大きかったように思います。小学校の運動会のチーム分けでは「赤城」「榛名」「妙義」「浅間」と、有名な山の名前で分けられるほどでした。また、関東平野と山間部がきれいに分かれている地形のため、山間部にはスキー場や温泉がたくさんあります。一方、平野部では雪もそれほど降らず、我が家ではスタッドレスタイヤに履き替える習慣はありませんでした。

上州名物と言われる「からっ風」のおかげで、冬は山々がはっきりと見渡せます。強風で雲があまりなく、空気が澄んで、赤城山の稜線がきれいに見えたのを思い出します。

高校生の頃は、赤城山から吹き下ろすからっ風に向かい、約9kmの通学路を自転車でこいでいました。とてもつらかった思い出ですが、お陰で脚は鍛えられました。



群馬県
前橋市



サークルとわたし



あや彩の会
 代表者 石井千恵子
 会員 18人
 発足年月 昭和63年9月
 連絡先 ☎(75)3429
 活動日 毎月第2・4金曜日
 午前9時30分～11時30分
 活動場所 東公民館

私たち「彩の会」は、発足から30年以上続いている水彩画の会で、年齢が60代から80代までの会員18人で結成しています。描く題材は、静物・器物・花・人物・人形などです。

指導者はおりませんが、先輩の会員が教えたり、講師を招いてアドバイスを受けたりして勉強しながら、会員それぞれの技法を生かし、制作に取り組んでいます。

毎年6月には、1年間に描き上げた作品の展示会をtetteで開催しているほか、毎年2月に開催される「東公民館まつり」でも、私たちの作品を展示しています。

展示した作品を皆さんがご覧になり、感想やアドバイスをいただくことが、次の絵画制作の励みになっています。

新型コロナウイルス感染症が流行する最中ではありますが、感染防止対策を徹底しつつ、頑張っています。

水彩画に興味のある方の入会、大歓迎です。



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加する際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



■ tetteスクールなど 市民交流センター☎(73)4407

- tetteスクールシニア「スマホ講座」
8月26日(木) ▶Android 午前10時～11時30分
▶iPhone 午後1時30分～3時 ※事前申込
- 9月9日(木) ▶Android 午前10時～11時30分
▶iPhone 午後1時30分～3時 ※事前申込
- tetteスクール市民大学「天使がくれた贈り物」
9月9日(木) 午後6時30分～8時 ※事前申込
●講話 金澤泰子さん ●書道パフォーマンス 金澤翔子さん
- tette絆イベント「軽い重箱inすかがわ」(演劇)
9月23日(木・祝) 午後1時30分～3時、午後4時30分～6時
※事前申込
出演：殿様ランチ(本市出身の俳優・相楽孝仁さん所属)

■ 図書館だより 中央図書館☎(75)3309

- こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)
8月21日(土) 午後2時 ※自由参加(定員20人)
- 図書特別整理による休館
休館日：8月30日(月)～9月3日(金)

■ こどもセンターだより こどもセンター☎(76)6687

- 子育て支援講座「助産師さん相談会」
8月19日(木) 午前10時～11時 ※事前申込
- 親子イベント「オリジナル花火をつくろう」
8月20日(金)～22日(日)に制作セットを配布
※事前申込(先着15組)
- 親子イベント「誕生カードづくり」
8月25日(水) 午前9時30分、午前10時30分、午前11時30分 ※事前申込(各回先着2組)
- 子育て相談会
8月26日(木) 午前10時30分～11時30分
※先着2組

Ordinary Coffee×図書館 コラボ事業 ライブラリーミュージック

- 9月5日(日) 午後3時～4時30分(二部制)
マリンバ演奏：安藤江梨さん、笹木日和子さん
※コーヒーチケットの事前販売もありますので、詳しくは中央図書館にお問い合わせください。



いつの時代も変わらぬ「健康への願い」を祈りに

妙林寺で毎年8月10日の早朝(午前1時頃)から行われている「四万八千日祭」は、健康と安全、幸福を祈願する行事で、江戸時代末期から始まったと伝えられています。

この日の朝、十一面観音菩薩にお参りをすると、四万八千日(約131年分)お参りしたことと同じ御利益があると云われ、多くの参拝者が訪れます。

ふるさとの遺産
 須賀川アルバム No.324
 -昭和の記録写真から-
妙林寺の四万八千日祭
 (昭和50年代)

参拝者は、自分の体の調子が悪い所と同じ部分を黒く塗った形代(人の姿を模した紙製の人形)に名前と年齢を書いて持参し、納めます。自身にかかる災いを形代に移し、護摩で一緒に燃やすことで、厄を祓うとされます。観音様に朝お参りし、人形を奉納することから「朝観音人形祭」の呼び名で多くの参拝者に親しまれています。

事前申込や有料のイベントもありますので、詳しくはtetteにお問い合わせください。